

## 令和3年度 さいたま市立野田小学校 学校関係者評価書

さいたま市立野田小学校

学校関係者評価委員長 詫間 陽介



### 1 学校関係者評価の実施体制

- (1) 構成人数 12人 ( 野田小学校PTA会長、しらすぎ幼稚園園長、浦和学院高等学校校長、チャレンジスクール実行委員長、美園中学校校長、NPO法人エコエコ副代表、国立武蔵野学院院長、野田小学校前PTA会長、地域講師、浦和大学子ども学部学校教育学科学科長、浦和東警察署野田駐在所巡査部長、若谷農園社長 )
- (2) 実施回数 3回
- 第1回 令和3年 7月 7日 (水)
- 第2回 令和3年11月19日 (金)
- 第3回 令和4年 2月 9日 (水) 書面による実施

### 2 学校関係者評価 (学校関係者評価委員の意見等)

- 本年度においても、先生方が子どもたちと接する機会を多くつくるなど、大変よい関係づくりをしていると思います。子どもたちが充実した学校生活を送るためには、先生方と子どもたちとの信頼関係が大切だと思います。
- 「食べることの楽しさや大切さを知っている」の質問に対しての子どもたちの回答結果が高評価というのは、素晴らしいと思います。給食指導に苦慮する中、食育の観点が特に高いのは、栄養教諭を中心に教職員で取り組んでいる成果であるとともに、学校と地域との連携がしっかりとれているからだと思います。
- あいさつに関して、子どもたちからの回答と、保護者側からの回答に、ギャップがあります。先生方は非常によくあいさつをしてくれていると思います。子どもたちの問題だけではなく、保護者の側面からもしっかりと考えるべき点だと思います。
- その時々に必要なプログラムを臨機応変に、積極的に授業に取り入れたり、子どもたちが考えていく授業を行ったりするなど、充実した授業づくりをしていると感じています。
- コロナ禍にもかかわらず、しっかりと学校経営・運営がされている様子がよく分かります。「子どもの数が少ない」という特色を生かして、一人ひとりに目を向け、温かな教育活動を展開しているのが伝わってきました。
- 「友達と仲よくしている」のポイントが下がったのは、思うように登校できず、友達との人間関係に影響が出たからではないでしょうか。来年度の課題の一つとして、引き続き、お願いいたします。
- リモートでの会話、マスク生活を強られる中、お互いのコミュニケーションがきちんととれているのか、集団での学習がしっかりできているのかなど、子どもたちへの影響が非常に心配されます。そのことに対するよりよい対応方法を社会全体で考えていかなければいけないと考えています。

### 学校関係者評価を受けた学校の対応

- 学校評価の結果を真摯に受け止め、次年度もよりより温かな関係を基盤に、子どもたちが充実した学校生活を送れるよう、全教職員が一丸となって取り組んでいきます。
- 次年度も感染症拡大防止の観点から、様々な制限のある教育活動を展開する必要があると考えます。子どもの数が少ない、食育に関する回答が高いなどを生かしながら、工夫した取組を展開できるよう努めていきます。
- 「友達と仲よくしている」にも課題が見られたり、コロナ禍の中、コミュニケーションに関する不安があるとの意見をいただいたりしました。授業方法の工夫、教育相談の充実、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関との連携の強化等をしなが、取り組んでいきます。

さいたま市立野田小学校長 保坂 篤司

